

議事	分類	意見等	対応の方向性	
第5回協議会 (11/13)	大田区交通政策基本計画(素案)について	全体	<p>・景観については、道路に関わる部分もあると思う。漏れているとすれば入れた方がよい。</p> <p>・大田区の中にも景観に関わる様々な計画があるので、それらの記載に対して交通としてどのような役割を担えるか、どのような連携が可能か。</p>	<p>以下の箇所に景観についての記述を追加した。</p> <p>・P4「4.計画の位置づけ」</p> <p>・P41「第5章施策展開」の「1-3.目標「環境」を実現するための基本方針」</p> <p>・P45以降「第5章施策展開」の「3.施策内容」の景観に係る項目</p>
		第5章施策展開	<p>リーディングプロジェクトについて</p> <p>・大田区の特徴がもう少し浮かんでくるとよい。</p> <p>・せっかくなので、区民の生活が豊かになったり楽しくなったりすることに繋がって、さらに他所から来た人も誘導できるとよい。</p> <p>・リーディングプロジェクトの中で、福祉、子育て、認知症予備群などの課題に横断的に取り組んで欲しい。</p>	<p>・この計画では、リーディングプロジェクトの概略まで記載する。</p> <p>・リーディングプロジェクトの詳しい内容は、来年度さらに検討を行う。</p>
	水辺空間について	<p>・水辺空間へのアクセスは重要なテーマ。さらにそこから水辺空間をどう見るのかというのも重要なテーマ。</p> <p>・多摩川沿いのウォーターフロントも、大事にしようという特別な地域になっていると思うので、そのようなことも入れていくとよい。</p> <p>・回遊性として、ぐるっと回れるようなネットワークになると一番よい。その提案をどれだけ効果的で魅力的なものにしていくか。それを多少イメージになってしまうかも知れないけれど伝えられるか。</p> <p>・そこに風景、景観みたいなものが魅力として関わってくるとすれば、それは区民の方々に一層訴求すると思う。</p>	<p>特に加筆修正はしない。</p> <p>※P40「第5章施策展開」の「1-2.目標「都市の活力」を実現するための基本方針」の「2.観光を支える交通サービスの提供」で、水辺空間について記述済み。</p> <p>※水辺空間へのアクセスは、「活2.5.1多摩川及び臨海部へのアクセスの強化」に記載済み。</p> <p>※水上交通については、「活2.1.4水上交通ネットワークの充実」「環4.3.1水上交通ネットワークの充実」に記載済み。</p>	
		水上交通について	<p>・船を交通手段として使う目的の一つとして、震災時の舟運がある。それに備えてどのくらい水路を広げていくか。</p> <p>・今年度、京急蒲田よりさらに上流を浚渫して航路ができていく。そうすると蒲田から舟運で出ていける、空港へいけるということになり、水辺だけではなく背後を整備することでさらに活性化すると思う。</p> <p>・呑川も環境整備をして水位を確保して蒲田までいけると利用価値が出てくると思う。</p>	<p>特に加筆修正はしない。</p> <p>(面的に水上交通ネットワークをどう充実させていくのかということ視点としては入れている)</p> <p>※水上交通については、「活2.1.4水上交通ネットワークの充実」「環4.3.1水上交通ネットワークの充実」に記載済み。</p>
	境界性 [※] を持たせた道について	<p>・境界性を持たせた道について大田区はどうするのか。</p> <p>・そのようなことがもしあれば、入れておいた方がよい。</p>	<p>特に加筆修正はしない。</p> <p>(「活2.4 交通による交流の場の充実」などで考え方は入れている)</p>	
	交通安全	<p>・区民の方の安全を守るため、67ページの「安全に外出できる交通環境の確保」は、きちんと確保して欲しい。</p> <p>・啓発などを通じて交通安全を進めているが、取り締まりも行う必要があると思う。</p> <p>・57ページに「自転車の交通ルール・マナーの普及啓発」があるが、これは区だけではできない。警察だけ、小学校だけでもできない。最終的には自治体で取り組むべき。一つ一つやっていくしかない。</p> <p>・大田区は、空間整備を進めて条件が整ってくるので、今まで以上に摘発を行うことも(選択肢としては)ある。</p> <p>・現在大田区において京急の高架化が進んでいる。それまで子どもが寝転んで遊んでいるような生活道路だったのが、いまは車が30~40km/hという速度で通る道路に変わった地域もある。</p> <p>・区民の生活環境をどのように守るか、将来的には検討してほしい。</p> <p>・交通について、背後にある生活のパターンや親と子の関係、仲間との関係、地域のコミュニティの中の位置づけなどまで含めて議論しないと、難しいのではないかと。例えば、簡単に「免許を取り去ればよい」と言っても、代替交通手段がない場合、ある程度高齢者の方にも運転していただく必要がある。少しこれまでとは違ったアプローチでそういう問題をとらえる必要がある。</p> <p>・小学校や中学校では交通安全教室などいろんなことをやっているが、その親の世代は実は難しい。また、我々のような現役世代はアプローチしようとしても全然そこにはいない。また、高齢の方は、元気な高齢の方が出てきているようなアクティビティをやっている、その方には波及効果はあるが、その他大勢いるあまり出て来ない、来られない、そういう活動にも興味が無いような高齢の方へのアプローチが実は一番難しい。</p> <p>・年齢階層別やその方の特性に応じてきめ細かく啓発活動が必要。啓発も多様な難しさを含んでいる。</p>	<p>特に加筆修正はしない。</p> <p>※リーディングプロジェクトの方向性として、交通安全や自転車も挙がっている。左記の内容も参考にして、来年度リーディングプロジェクトについて具体的な内容を検討する。</p>	

※境界性: 新たな個性的な店や施設が古くからの町並みに溶け込みお互いに良い相互作用を発揮し、商店街の賑わいや生業の活気といった生活感あふれる雰囲気を感じさせる状態などのことを指す。

	議事	分類	意見等	対応の方向性
第6回 有識者会 (2/5)	区民説明会、パブリックコメント、パネル展の結果概要について	パブリックコメントの結果概要	<p>福祉系の移動の支援のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉有償運送に対する質問と回答がいくつかあるが、私は大田区の現状から見ると福祉有償運送は壊滅的な状況にあると見ている。そろそろかじ取りをちゃんとした方がよいのではないか。 真面目に取り組まないと高齢社会を乗り切れない。パブリックコメントは逃げの受けではなくて、少し積極的な受けをやってみたらどうか。 今のような状況ではNPOなどの団体が新たに参入するのは難しい状態だと思う。 今後の高齢者の移動を考えた場合、何らかの移動の手段は必要。このことについては課題だと思っている。 <p>パブリックコメントの回答の姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政側の答えは行政の姿勢が見えるので、書き方については今日のご意見も参考に、うまく対応していただけるとありがたい。 一貫した姿勢としては、このような上位の段階で、区民の方や関係者の方に多く理解しておいてもらった上で進めていくという「体制づくり」を重視してやってきたので、最後のパブリックコメントで打ち返してしまうのは問題。 書き方について、「今後の検討もあり得る」というような書き方になってくるとよいと思う。「ここに書いてある」で終わりではなく、書ける部分は多少は書いてもらいたい。 <p>子どもの意見反映の要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「子どもの意見も反映させてもらいたい」というのに対して、「交通安全教室をやっていて、それで子どもたちの意見を集約してまいります」というのは、相当苦しいのではないか。 子どもたちを育てることも、区の重要なひとつの施策だと思うので、「大きくなったら、公的な意見をぜひ言ってもらいたいと思っている」くらいの方がよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの区の意見(案)の表現を再度検討した。 来年度以降、福祉系の移動についても、リーディングプロジェクトで検討することを想定する。 パブリックコメントの区の意見(案)の表現を再度検討した。
大田区交通政策基本計画(案)について	計画案の修正について	<p>4ページ「計画の位置づけ」の関係計画</p> <p>115ページなどのリーディングプロジェクトの選定について</p> <p>「リーディングプロジェクトの概略」の記載について</p> <p>リーディングプロジェクトを検討する際の考え方について</p> <p>選定プロジェクト以外の進め方について</p> <p>そのほかリーディングプロジェクトでの取り組み内容について</p>	<p>4ページの「計画の位置づけ」の関係計画に、ユニバーサルデザインの基本方針を入れて欲しい。</p> <p>リーディングプロジェクトについて、計画の中に「3つほどを選定します」と表記されており、リーディングプロジェクトを3項目しか行わないように見えてしまう。</p> <p>「リーディングプロジェクトの概略」の記載は、視点がハードに偏っているイメージがある。この概略の文面については、ぜひ各部の皆様、先生方からサジェスションをいただいて、イメージをもっと膨らませることで、来年度、魅力的なプロジェクトができると思っている。</p> <p>文章自体はこれこれとして、実際に来年度進めていくときにはもっと今日のご趣旨なども踏まえながら中身の広がりのあるものにしていただければと思う。</p> <p>既存の事業を比較的ホチキスをして「これやります。これが新しい計画の中身です」となりがち。しかし、それではせっかくやるのに意味がないので、交通政策基本計画ならではのリーディングプロジェクトにしていかなければいけない。</p> <p>連携して達成できるような目的をセットし、またそういう連携してくれる部署の方がリードしてやっていくようなこともなければいけない。そういうことが1番から7番についてそれぞれ言えるのではないかと思う。</p> <p>各分野の目的があるのでそれにどれだけ貢献するかを設定してもらって、大きく言えば一つの事柄を取り組んでいくがその過程の中でそれぞれの部局や分野が一定程度の目標達成に向かえるという進め方をしてもらえると、結果としても迫力が出てくると思う。それは、整備側としてもすごく意味合いが深まる。つくっているだけではありませんというのをもっと強く言えるというのはすごくありがたい。</p> <p>交通の前提として、子育てとか高齢者とか観光とかも含めてどんな需要パターンを将来目指すのかというところの中の交通だと思う。そういう全体の視点を忘れないで、リーディングプロジェクトの選定をやるべきだと思う。</p> <p>ハードとソフトについていま進んでいる連携を洗い出したときに、少し市民ニーズから言ったときにフォーカスをはっきりさせてやるような部分と、まったく今までやっていない新たなプロジェクトをやるというものがバランスよく入っているような感じがよいと思う。</p> <p>3つ程度選定するのであれば、そういう特性の違う、必ず部局横断でやるようなものをぜひ含めて欲しい。</p> <p>各プロジェクトを具体的にどうやって運用して誰が引っ張っていくかについての検討も急務だと思う。</p> <p>せっかく7つ挙がっているのに、プロジェクトチームにはなっていないがプロジェクトチームの準備段階で何かやっているような、検討だけは次の年もやるというようなのは実際にあるとよいのではないか。</p> <p>大田区さんは町工場も含めていろんな技術を持っているので。連携も簡単ではないが、大学もあるのでいろんな連携が今後は発展していくと思う。どこかの部局がいろんな情報を収集しながら、政界の動向まで入ると本当は良いが、そういうことを勉強しておくとういと思う。</p> <p>7つのうち3つはリーディングで進めて、それ以外はどこかに基礎研究を委託しておくなど。そういうことがあると面白いと思う。</p> <p>羽田国際ターミナルでバナソニックがつくった交通案内では、残念ながら蒲田が抜けている。蒲田は羽田からはほとんど通過点でしかないの、このローカル性をどうやって上げてもらうかという戦略も必要ではないか。</p>	<p>4ページの「計画の位置づけ」の関係計画に、ユニバーサルデザインの基本方針を追加した。</p> <p>「3つ選定する」という部分は削除し、「この中から優先順位をつけて取り組みを進めます」に変更した。</p> <p>文章自体は修正しない。来年度以降、リーディングプロジェクトについては、もっと大きく、そして広くとらえながら検討を進めることとしました</p> <p>左記の意見も参考にして、来年度以降、リーディングプロジェクトについて検討する。</p>